



実勢価格を適切に予定価格に反映させるため 「見積りを活用する積算方式」を試行します。

記者発表資料

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないなどの理由により、入札のとりやめや不調となる工事が多発しています。

この理由の一つとして、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから、『見積りを活用する積算方式』を試行しています。

今回、横浜国道事務所の交通安全事業において「見積りを活用する積算方式」による発注手続きを開始します。

対象工事は、[多摩川大橋歩道拡幅下部工事]です。

多摩川大橋歩道拡幅下部工事は、多摩川に架かる一般国道1号の多摩川大橋の橋脚及び橋台の改良工事であり、河川区域内での工事です。

当工事は、高水敷に存在する4基の橋脚と橋台2基の比較的小規模な改良工事であり、近接して河川敷内にはグラウンド等の占用施設があり一般の利用者も多く、制約条件が厳しい現場のため、施工にあたっては作業効率が低下する事が考えられる事から、入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。

見積りを求める工種は、上記の現場条件や同種同規模工事における過去の入札手続きの状況を踏まえ選定しています。

平成20年 7月16日
国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局
技術管理課 建設専門官 新井 正 (電話 048-600-1331)
技術調査課 課長補佐 浅古 勝久 (電話 048-600-1332)

横浜国道事務所 電話 045-311-2981
副 所 長 川端 道雄 (内線205)
交通対策課長 滝沢 貞男 (内線471)

《見積りを活用する積算方式の工事概要》

◆多摩川大橋歩道拡幅下部工事

- 1)工事場所： 自)東京都大田区多摩川二丁目地先
至)川崎市幸区古市場地先
- 2)工 期： 契約の翌日から平成21年3月31日とする。
- 3)入札方式： 一般競争 施工体制確認型総合評価落札方式「標準Ⅱ型」
- 4)工事内容： 本工事は、一般国道1号の東京都大田区多摩川二丁目地先から川崎市幸区古市場地先にかかる多摩川大橋において、現況の歩道幅員1.5mから3.0mに拡幅を実施するにあたり、橋台2基、橋脚4基を改良するものである。
当該施工箇所は、多摩川河川区域内の高水敷地内における工事であり、上流側にゴルフ場の占用、下流側にはゴルフ練習場及びグラウンド等が占用されており、一般の方の利用を確保しながらの作業を予定している。
- 5)概算数量：

壁式RC橋脚	4基(張出部 H=5.1m~6.0m)
壁式RC橋台	2基(張出部 H=3.8m~4.7m)
土工	1式
型枠工	約480m ²
鉄筋工	約12t
コンクリート工	約220m ³
RC床版工	1式
地覆工	1式
構造物取壊工	1式
仮設工	1式
- 6)見積りの提出を求める工種
直接工事費、共通仮設費
- 7)スケジュール
入札公告予定日:平成20年7月16日
入札予定日 :平成20年9月16日